

Generous Split ジェネラス・スプリット

3~5人（4人おすすめ） / 30分 / 8歳以上

カード構成

通常のトランプ1組から、ジョーカーを除いた52枚を使います。3人の場合は各スート2~4の計12枚を除いた40枚を使います。ランクは高い順にA, K, Q, J, 10, 9, 8, 7, 6, 5, 4, 3, 2です。

目的

トリックテイキングゲームです。各ゲームの終わりに、取ったトリック数に応じて得点がもらえます。ただし、プレイヤーの中で最も多くトリックを取ってしまうと、1点ももらえません。また、0トリックでも特別に点数がもらえます。「トリック」の意味は「ゲームの流れ」にて後述します。

準備

適当な方法で親を決めます。親はすべてのカードをひとまとめにして裏向きによく切り、時計回りで全員に裏を向けて1枚ずつ配ります。配る枚数は3~4人なら12枚、5人なら10枚です。残ったカードの一番上をめくり、そのスートが切札（最も強いスート）となります。切札表示カードを含む残ったカードはその回のゲームではプレイせず、横に置いておきます。

配られたカードは手札として、他の人に見せないように持ちます。親の左隣からゲームを始めます。

ゲームの流れ

最初のプレイヤーは、好きなカードを手札から1枚、自分の前に表向きに出します。これを「台札」と呼びます。続いて、時計回り順に残りのプレイヤーも1枚ずつカードを表向きに出しますが、このとき台札と同じスートのカードが手札にあれば、必ずその中から選んで出さなければなりません。同じスートがなければ、どのスートのカードを出してもかまいません。全員が1枚ずつカードを出した、この一巡を「トリック」と呼びます。

次にトリックの勝敗を決めます。切札のカードが出ていれば、その中でもっともランクが高いカードがそのトリックに勝ちます。切札のカードがなければ、台札と同じスートでもっともランクが高いカードが勝ちます。台札とも切札とも異なるスートは、ランクに関わらず勝つことができません。

切札で勝った場合、このトリックに全員が出したカードを、1つの山にして場の中央に裏向きに置きます。トリック数を区別できるよう、前の山と分けて新しい山を置くとよいでしょう。

切札以外のカードで勝った場合、勝った人はこのトリックに全員が出したカードと、場の中央に集まったトリックの山とをすべて引き取り、手札とは別に裏向きにして、自分の手前に1トリックごとに山を分けて置いておきます。

勝った人が新しい台札を出して次のトリックを始め、これを全員の手札がなくなるまで繰り返します。ゲーム中、一度裏向きにしたカードは誰も見てはいけません。

全員の手札がなくなったとき、場の中央にトリックの山が残っていた場合は、最後のトリックに勝った人がその山もすべて引き取ります。

得点

ゲームが終わったとき、自分が取った1トリック（の山）につき3点になります。勝った数ではなく、取った山の数であることに注意してください。

ただし、全員の中で最も多くトリックを取ったプレイヤーは、何トリックであろうと0点になります。そのような人が2人以上いれば、その全員が0点になります。プレイヤー全員が同じ数のトリックを取った場合、全員が0点になります。

また、1トリックも取らなかった人がいれば、最も多く取ったプレイヤーのトリック数（複数あればその合計）そのものを得点として計算します。1トリック3点ではなく、トリック数が得点になることに注意してください。例えば最多で6トリック取った人がいれば、 $(3 \times 6 =)$ 18点ではなく6点として計算します。その得点を、1トリックも取らなかった人全員で頭割りします。端数は切り捨てます。

得点のもっとも高いプレイヤーがゲームの勝者です。複数回のゲームを遊ぶ場合、親を時計回りに交代します。ぜひ、人数分のゲームを行って合計点で真の勝者を決めるとよいでしょう！

Generous Split

Game Design by Kazuma Suzuki (Twitter: @_kazuma0221)

Playtest by Ken-ichi Fujii, Kenjiro Ito, G2, Oru Mihirogi, Satoru Nakamura, Nao, Yu (Alphabetical Order)

©Tarte Games 2021

Email: tartegamestokyo@gmail.com